

# 私たちの手で守り育む くまもとの地下水



阿蘇大観の森・阿蘇水掛の棚田

目的：郷土における水資源の質・量両面の愛護並びに緑化推進・緑の保全に資するとともに、豊かな地域文化の創造



公益財団法人

肥後の水とみどりの愛護基金

# 1 『肥後の水とみどりの愛護賞』顕彰・助成金事業

この賞は、1987年(昭和62年)、熊本県と熊本日日新聞社の協力を得て地下水保全の啓発活動を促進するため"子や孫に残そう熊本の水"をキャッチフレーズに創設した賞です。



第37回「肥後の水とみどりの愛護賞」表彰式の様子

## ●表彰目的

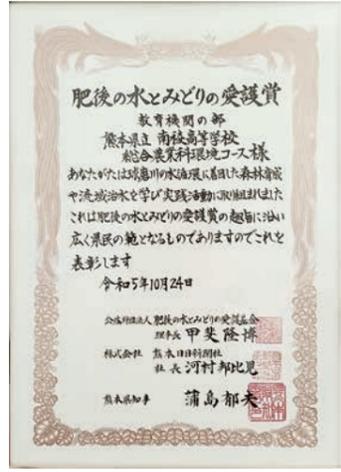
熊本地域における、水とみどりの保全活動への関心の高まりや、継続的実践行動の広がりを目的とし、支援助成するものです。

## ●募集期間

毎年4月1日開始～7月31日締切

## ●表彰分野

- (1) 水資源の涵養・保全・節水
- (2) 水質汚染防止
- (3) 緑化推進
- (4) 水資源の研究・調査が(1)(2)(3)の実践行動に直接効果をあげた先



賞状

## ●表彰部門

### 『一般の部』

- 活動期間 3年以上の活動
- 表彰対象 個人、ボランティアグループ、企業、県内自治体

### 『教育機関の部』

表彰要件 教育機関を表彰対象とし、その他は一般の部と同じ

### 『継続賞の部』

表彰要件 過去の愛護賞受賞先かつ受賞後10年以上活動を継続している先

## ●表彰内容

- (1) 表彰状 (2) 表彰盾 (3) 活動助成金【団体・企業30万円 学校20万円 個人10万円】
- (4) 表彰者の活動内容は、熊本日日新聞紙面、RKK特別番組で紹介します。

【主催】 肥後の水とみどりの愛護基金・熊本日日新聞社・肥後銀行

【共催】 熊本県

【後援】 熊本市、熊本商工会議所、熊本経済同友会、くまもと地下水財団、地方経済総合研究所 熊本県地域婦人会連絡協議会、NHKくまもと放送局、RKK、TKU、KKT、KAB、FMK FM791



盾(一般の部)



盾(教育機関の部)



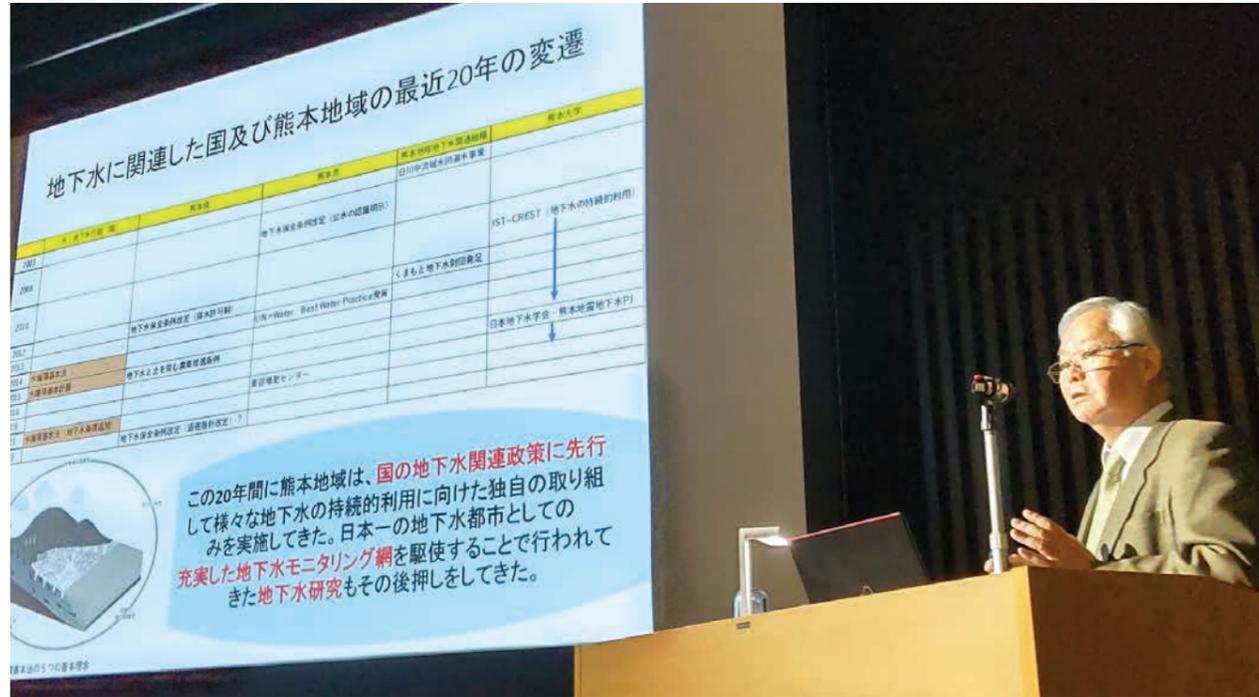
盾(継続賞の部)

1987年から2023年度(第37回)までの『肥後の水とみどりの愛護賞』の受賞者は、353団体16個人にのぼっています。

## 2 啓発事業

- ・愛護賞表彰式に併せて「講演会」開催
- ・環境講座や小・中・高校生への出前授業開催
- ・修学旅行生向け「水プログラム」の実施

- ・県内湧水地の水質調査を定期的に実施
- ・活動状況を随時SNSにて発信中



熊本の水とみどりに関する「講演会」や「環境講座」を開催



第4回「アジア・太平洋水サミット」レガシー授業



「ユース水フォーラムアジア」高校生の発表



水循環メカニズムに重要な「海」で地元の高中生と連携して「アマモ」を調査



DVD映像による啓発



巡回展示「お家でできる水にまつわるSDGs」



熊本県下湧水の「水質検査」



熊本県教育旅行プログラム

**aigokikin** ⊕ ☰

**1,369** **6,326** **7,347**  
投稿 フォロ... フォロ...

公益財団法人 肥後の水とみどりの愛護基金

© aigokikin

肥後銀行の環境保全団体で、熊本のかげがえのない水とみどりを守る活動を継続。阿蘇北外輪の「阿蘇大観の森」で水源涵養林の保全育成、阿蘇市山田の「阿蘇水掛の棚田」で水田湛水を行ない、熊本の湧水の現況調査、水質調査を進めています。2023年度は「海」の環境保全を目的として「アマモ」の育成に取り組みます。

© mizutomidori.jp/

### 3 森林の保全・育成事業

水資源涵養のための森林の運営・管理事業

あそたいかん  
「阿蘇大観の森」=阿蘇外輪山約62ha

2006年よりボランティアによる植樹、下草刈り等の活動を通じた地下水涵養に努めています。2023年までに15万2千本の広葉樹の苗木を植えました。



地下水涵養量 年間100万~200万m<sup>3</sup>



2006年から、ボランティアによる植樹・下草刈りを毎年継続



広葉樹の苗木1,700本植樹(2023年4月8日)



苗木成長を助ける下草刈り(2023年7月22日)



伐採した杉材で制作した木製ベンチ  
県下小中学校へ毎年寄贈



廃棄される杉の丸太を  
瀬の本高原キャンプ場で「薪」として利用



マウンテンバイクコースとして活用

# 4 水田湛水事業

地下水涵養を目的とした水田湛水事業

あそみずかけ  
「阿蘇水掛の棚田」=阿蘇市山田地区 棚田67枚 面積1.98ha

2011年、耕作放棄地を25年ぶりに復活して「阿蘇水掛の棚田」と命名。  
2017年より「阿蘇水掛の棚田米」は、熊本県の「地下水と土を育む農業推進条例」に基づき、地下水の量と質に貢献する生産基準を満たす農産物として第1号の認証を受けております。



耕作放棄地



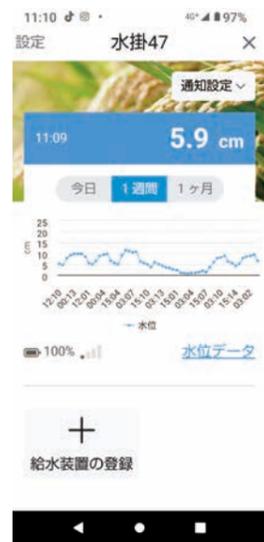
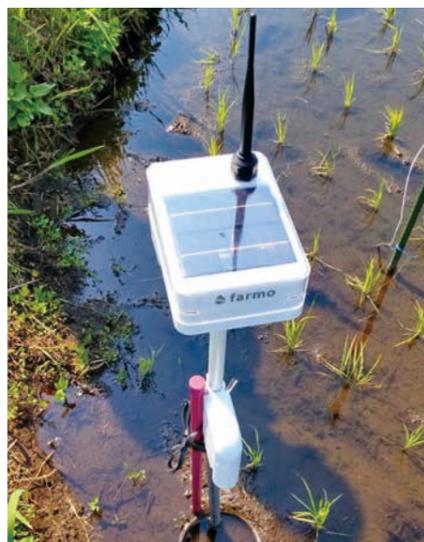
棚田再生後



熊本県の農畜産物等認定証書



ソーラー式の電気牧柵で獣害被害を防止



「水位計」のデータを解析して棚田ごとに地下水涵養量を算出 「証明書」を発行  
稲作期間127日間の地下水涵養量は約21万m<sup>3</sup>



棚田の「ライブカメラ」

台風・大雨等の状況を確認



「気象センサー」でデータ蓄積  
雨量・風速・気温等

日付	気温 ℃	湿度 %	風速 m/s	雨量 mm	照度 klux
9/1	24.0	77.9	4	82	2.8
9/2	24.0	81.6	2	0	10.4
9/3	24.4	80.4	1	0	22.2
9/4	24.7	78.7	2	0	15.6
9/5	23.5	85.3	1	0	13.2
9/6	23.3	84.8	2	0	13.9
9/7	23.3	75.4	2	0	20.5
9/8	22.5	82.0	1	0	16.1
9/9	22.9	81.4	1	0	15.8
9/10	21.8	86.2	1	5	13.3
9/11	21.3	92.4	1	16	14.8
9/12	22.6	86.1	1	0	18.5
9/13	22.0	91.8	1	7	11.4
9/14	21.8	96.9	1	1	5.5
9/15	24.8	87.3	1	0	18.4
9/16	25.2	85.2	1	0	19.7
9/17	24.1	83.9	2	0	20.3
9/18	22.8	89.9	1	5	16.5
9/19	23.6	87.8	1	0	18.5
9/20	24.4	84.0	1	0	18.8
9/21	22.4	92.0	2	6	6.2

## 受賞歴

- 1996年 「水資源功績者 国土庁長官賞」
- 2005年 「ふるさとづくり賞 内閣総理大臣賞」
- 2006年 「地域環境保全功労表彰」
- 2006年 「緑化推進運動功労者 内閣総理大臣表彰」
- 2007年 「日本水大賞 審査部会特別賞」
- 2013年 「日本地下水学会 技術賞」
- 2014年 「日本水大賞 厚生労働大臣賞」
- 2014年 くまもと地下水財団認定「ゴールド団体」
- 2016年 くまもと地下水財団認定「審査員特別グランプリ」
- 2017年 「日本水環境学会九州沖縄支部 水環境貢献賞」
- 2018年 「くまもと景観賞 緑と水の景観賞」
- 2019年 「くまもと景観賞 30回記念大賞」
- 2021年 第1回「グリーンインフラ大賞 優秀賞」
- 2022年 「つなぐ棚田遺産」に選定
- 2022年 第72回「熊日賞」
- 2022年 第1回「くまもとSDGsアワード」特別功労賞



名 称 公益財団法人 肥後の水とみどりの愛護基金  
 理 事 長 甲斐 隆博(肥後銀行 代表取締役会長)  
 基 本 財 産 2億1千万円(肥後銀行とそのグループ会社等の出捐)  
 設立年月日 1992年9月28日  
 所 在 地 熊本市中央区紺屋今町1番23号  
 電 話 096-351-3882  
 F A X 096-351-3885  
 メ ー ル aigo@mizutomidori.jp

※詳細は財団HPをご覧ください

